

(株)ニッポン 第2四半期連結累計期間の業績および通期連結業績予想

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	176,488	112.0	5,829	99.3	7,211	98.0	4,963	94.8
2022年3月期第2四半期	157,535	111.9	5,869	140.0	7,362	143.1	5,235	147.9

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ロシア・ウクライナ情勢の動向、急激な円安の進行、世界的な異常気象等に起因する原材料及びエネルギー価格が高騰するなか、物価上昇による景気後退懸念が高まるなど先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社グループは製粉事業・食品事業をはじめとした基盤事業の強化に加え、ヘルスケアや海外事業などへも注力し、新規事業も加えて事業領域を拡げ持続的成長を図っております。経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、既存事業の基盤強化や生産能力増強等を通じて多様なライフスタイルに対応するとともに、成長分野への積極的な経営資源の投下を継続しながら、グローバルな事業拡大や新たな事業創出を行い、長期ビジョンで掲げている売上高5,000億円・営業利益250億円の規模までの成長を目指しております。

総合食品企業としての地位確立に向けて、既存事業の構造改革と成長ドライバーの継続展開を進め、新たな事業創出に向けて経営資源を最適配分しながら経営基盤の強化に努めております。また、持続的成長を図るためにESG経営を推進することで、長期ビジョン実現のマイルストーンとして2026年度までに売上高4,000億円・営業利益150億円の達成を目指し、事業戦略をより具体化しつつ、グループ一丸となって取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、行動制限緩和に伴う需要の回復、小麦相場や原材料価格の上昇に伴う販売価格改定の実施により、売上高は1,764億8千8百万円（前年同期比112.0%）となりました。利益面では、需要回復に伴う出荷増があったものの、原材料及びエネルギー価格が想定以上に上昇し、また拡売のための戦略コストが増加したことから、営業利益は58億2千9百万円（同99.3%）、経常利益は72億1千1百万円（同98.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億6千3百万円（同94.8%）となりました。

< 連結業績予想 >

(%表示は対前年同期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期 通 期	355,000	110.5	10,100	89.5	12,200	85.5	8,300	89.0

第3四半期以降の業績につきましては、第2四半期連結累計期間の業績が想定以上の需要の回復などにより当初の予想を上回ったものの、地政学リスク並びに急激な円安の進行等に起因した原材料及びエネルギー価格の高止まりの影響が当面の間続く見通しであることから、2022年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想の数値を据え置いております。

また、配当につきましても、当初予想の1株当たり年間38円の予定から変更はございません。

以 上